

広報

第983号

いながわ

7月

令和3年
(2021年)



川の水は冷たくて気持ちいいね♪(ふるさと館・親水公園)

特集

投票は、
自分の意見を述べるコト!

- 新型コロナウイルス ワクチン集団接種のお知らせ ○ 8
- 保険料などのお知らせ ○ 10
- 瞬(ときめき) 山村 修一(昇修) さん ○ 25
- いながわ特派員報告 本立て作りに挑戦! ○ 28



木登り上手なモリアオガエル(杉生)



INTERVIEWER
町選挙管理委員会
神野 董 書記



INTERVIEWS
～若者の気持ちを聞きました～



吉田 朱里さん
(20 歳)



高橋 拓人さん
(20 歳)



白井 千裕さん
(21 歳)

特集 投票は、
自分の意見を
述べるコト！



7月18日に、任期満了に伴う「兵庫県知事選挙」と町長の辞職に伴う「猪名川町長選挙」の同時選挙が行われます。また、今年は「衆議院議員選挙」も予定されており、選挙が多い1年となります。

今号では、これらの選挙を前に、若者たちの「選挙に対する率直な気持ち」を聞いてみました。改めて「選挙制度」や「投票」の意義・目的について考えてみましょう。

▶問合せ 町選挙管理委員会（総務課内、☎766-8708）

神野 候補者は、それぞれの公約を掲げて選挙を戦います。投票の際は、候補者の公約から「まちの将来の姿」を想像して、誰に投票するかを考えてもらえたらいいのかな、と思います。候補者の公約は、投票の3日前くらいに全戸配

白井 私は、「誰に投票したらいいのかわからない」というところが、投票に行かない一番の理由だと思えます。候補者の人たちのことを知る方法ってあるんですか？

神野 インターネット投票については、総務省で以前から検討されているものの、今のところは実現に至っていません。選挙の原則である「本人による投票」が行われているかを確認する方法などに課題があるようですね。

高橋 投票所に行かなければならない、というのが面倒なのかなと思います。最近は何でもオンラインでできるのが当たり前という感覚なので、「何でネットできないんだろう」と思っています。

投票率を上げるためにはどうしたらいいと思いますか？

神野 投票の方法や投票所の雰囲気って、なかなか知る機会がないですよ。実はそんなに時間もかからないですし、手続きも簡単なんです。次のページで手順をご紹介しますので、一緒にやってみましょう！

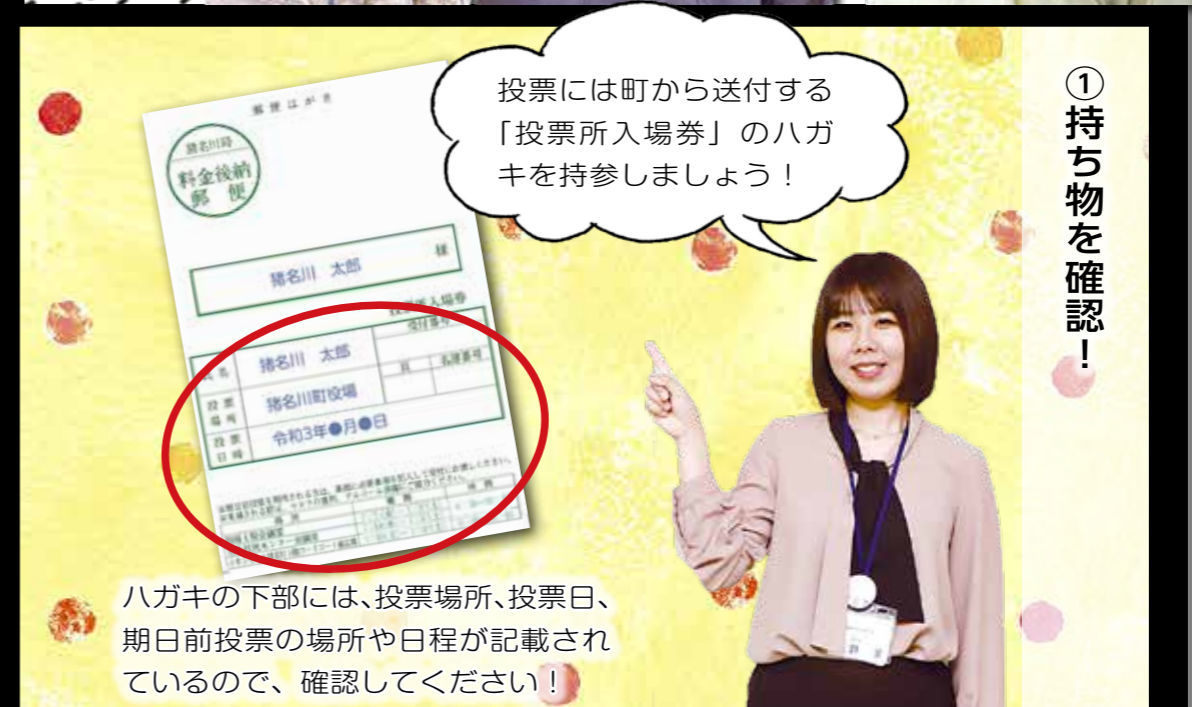
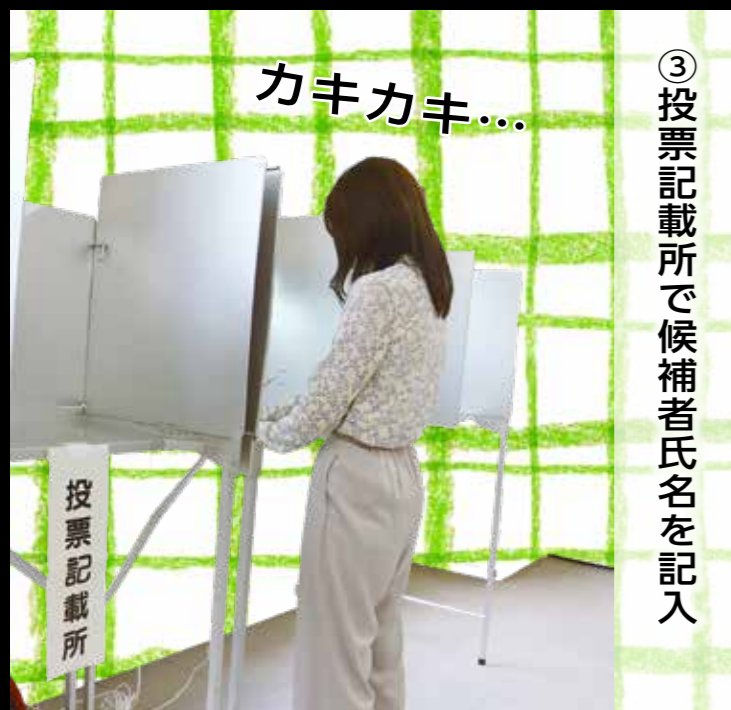
吉田 私は行ったことがないのでわかりません。難しそうないメージはありますけど（汗）

高橋 僕も行ったことがないのでわかりません。時間がかかるとは思いますが？

吉田 SNSでも発信されているのは知りませんでした。次の選挙の時には候補者のSNSをチェックしてみようと思います。

投票の方法ってわかりますか？

投票の方法をご紹介!



POINT 1 「広報いながわ選挙特集号」で投票日・投票所をチェック!

町では、選挙が告示、または公示される日に合わせて「広報いながわ選挙特集号」を発行しています。投票日や投票場所などを確認しましょう!

令和元年9月22日
執行 猪名川町議会議員選挙の選挙特集号

POINT 2 選挙公報で立候補者の紹介や公約をチェック!

選挙の告示後に「選挙公報」が発行されます。立候補者が掲げる政策など、投票日まで確認しておきましょう!

POINT 3 新型コロナ感染予防のためマスク着用&入口で消毒!

新型コロナウイルス感染予防のため、投票にはマスク着用でお越しください。また、投票所の入口にはアルコール消毒液を設置していますので、消毒して入場してください。

投票には、ぜひご家族揃ってお越しください!

猪名川町長選挙 兵庫県知事選挙

未来のために
みんなの「想い」を
届けよう！

同時選挙 決まる！

投票日 7月18日 日

(町長選挙告示日 7月13日)

(県知事選挙告示日 7月1日)

※欠員の状況により、「町長選挙」と同じ日程で「町議会議員補欠選挙」が行われる場合があります

INTERVIEWS

まちの未来の姿を想像して、

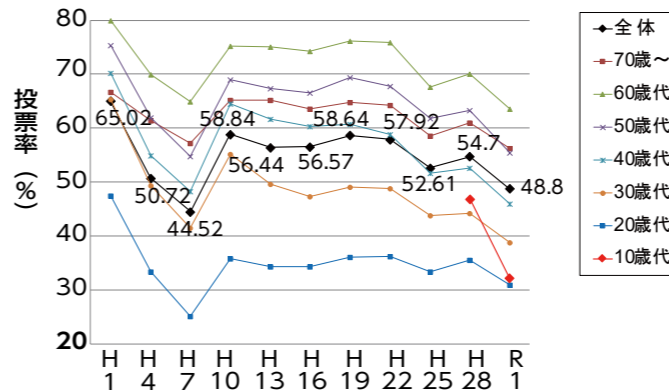
「想い」を託す

投票率の低下が問題に

近年行われている選挙では、年々投票率が低下してきていることが問題になっていきます。

特に、年代別の投票率を見ると、60歳代が一番高く、年齢が下がるにつれて減少傾向となっていることがわかります(左表)。特に20歳代以下の投票率が低く、全体の平均に対して大

参議院議員通常選挙での年代別投票率 (全国平均)



きく下回っています。

若者のせい...ではありません！

投票率の低下の原因として、「若者の投票率の低下」を挙げているニュースを見ることがありますが、投票率の低さは「若者のせい」ではありません。投票率が高い諸外国では、多くの人たちが政治に関心を持ち、「投票」という形で政治に参加することが、社会全体の「常識」として浸透しています。

「年齢が下がるにつれて投票率が減少傾向となっている」という、現在の日本の傾向は、「年齢が高い人たちの意識が下の世代に十分に受け継がれていない」ことが大きな要因ではないでしょうか。「投票に行こう」という機運を社会全体で作っていかねばいけないと思えます。

家庭の中でも選挙を話題に

「家庭で「政治」や「選挙」を話題にすることはありますか？」

ぜひご家庭内でも「政治」や「選挙」について話をしていただいで、投票に行くことの意義を考えてみてほしいと思います。

投票は、私たちにとっての「権利」であり、「義務」でもありません。自分たちの住むまちや日本の将来のことを考え、立候補者の人となりを知り、責任を持って投票することも必要です。また、投票した後はその候補者の政治活動を見届けるようにしたいです。それがその次の選挙の時にも活き、投票する候補者を選ぶ判断材料にもなっていきます。

この機会に選挙のことを考えていただき、少しでも「今年には投票に行こうかな」と思っていた方が増えればうれしいですね。



猪名川町選挙管理委員会
根本 善弘 委員長

